

今年度から

高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施 健康な生活に向け支援します

▶ 問合せ 住民課保険係 ☎ 25-3242

これまでは75歳になると、それまで加入していた国民健康保険や社会保険などから後期高齢者医療へ移行する中で、それぞれの保険者による保健事業と介護予防事業が別々に行われてきました。この課題を解消し、高齢になっても健やかに過ごせるような体制づくりに今年度から取り組んでいます。

高齢になっても生活習慣病などを悪化させないようにし、心身機能を保っていくための法整備を国が行いました。村においても群馬県後期高齢者医療広域連合から委託を受け、今年度から住民課をはじめ健康福祉課や村地域包括支援センター、地域の医師会などが連携し、高齢者が住み慣れた地域で可能な限り健康な生活を送ることができるような体制づくりに取り組んでいきます。



通いの場での健康教室

75歳以上の方が抱える健康の課題

村にお住まいの75歳以上の方(後期高齢者)の健康課題には次の傾向があります。

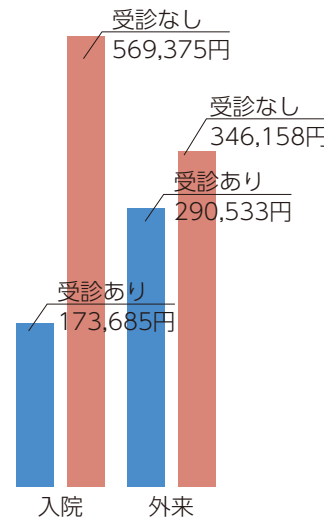
① 医療費が高い

75歳以上の方の令和4年度の健診受診率は24.2%で県平均と比較して低く、重篤な状態となるまで病院に行かない傾向があります。健診や医療を受診していない方の医療費が高くなっています。

② 骨折や高血圧などによる疾病が多い

疾病別の医療費は、骨折のほか高血圧や循環器疾患、筋骨格系疾患が高くなっています。健康な状態と要介護状態の中間の段階であるフレイルの対策や、高血圧予防が必要となっています。なお、介護認定者では心臓病や高血圧症・筋骨格系疾患の占める割合が多くなっています。

◆ 村民の健診受診と医療費の比較



出典：KDBデータシステム
(令和4年度実績値)

◆ 村民の疾病別医療費 (入院と外来)

順位	症状	割合
1位	骨折	4.8%
2位	不整脈	4.7%
3位	慢性腎不全 (透析あり)	4.5%
4位	脳梗塞	4.2%
5位	関節疾患	4.1%
6位	高血圧症	2.9%
7位	糖尿病	2.5%
8位	骨粗しょう症	2.0%
9位	肺がん	1.9%
10位	肺炎	1.8%

健康に過ごしていくための村の支援

村は担当課や地域包括支援センターなど、関係機関と連携し、健康を保つための取組みを進めています。

健康状態不明にならないよう個別支援

過去2年間に健診などを受けておらず、さらに介護保険を利用していない健康状態不明者といわれる方を村保健師などが訪問し、健診の受診を勧めたり必要な支援がないかを相談しています。

高血圧・フレイル予防の健康教室を開催

保健師や管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士が村内のふれあい・いきいきサロン(筋トレサロン)を訪問し、高血圧やフレイルを防ぎ、ずっと健康で過ごせるよう健康教室を開催します。